

新規・継続等	新規	分野	砂防施設整備		事業番号	8	事業名	砂防(総合流域防災)				
市町村名	伊那市		ふりがな 箇所名	みなみさわ 南沢		ひらさわ 平沢		事業年度 (完了年度は見込み)	H23 年度 ~ H30 年度			
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)		既設堰堤嵩上げ工1基、床固工4基、渓流保全工 L=170m					H22年度事業進捗率	0.0%			
	H23年度以降実施内容		同上					本工事費等ベース	0.0%			
	H23年度実施内容		調査・測量設計 1式、渓流保全工 L=70m					用地補償費ベース	0.0%			
	年度		全体事業費		H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降降残				
	事業費計(千円)		800,000		0	0	20,000	800,000				
財源内訳	国庫支出金		400,000		0	0	10,000	400,000				
	その他							0				
	県債		360,000		0	0	9,000	360,000				
	一般財源		40,000		0	0	1,000	40,000				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部	政策評価課		
								ランク	評点	ランク	評点	
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上			1~9戸	0戸		A	10	A	10
		保全対象公共施設	2箇所以上			1箇所	なし			6		6
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設有り			一般施設有り	なし			0		0
		保全対象に避難所・避難経路があるか	あり			なし				1		1
		小計								17		17
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去20年に1回以上			災害履歴値	なし		A	5	A	5
		交通遮断による地域経済などへの影響	大			中	小			5		5
		防災計画上の位置づけ	あり			なし				5		5
		小計								15		15
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C1.5以上			B/C1.0以上1.5未満	B/C1.0未満		A	15	A	15
		早期発現度	5年未満			5年以上10年未満	10年以上			3		3
		流域の総合調整(関連事業の有無を含む)	検討あり			検討なし				0		0
		小計								18		18
	緊急性 (25)	地質・地形の状況	地質が脆弱かつ地すべり地形			地質が脆弱	その他		B	5	B	5
		植生の状況	無林地や倒木が多い			放置林	その他			3		3
		平均溪床勾配	10度以上			2度以上10度未満	2度未満			7		7
		土砂整備率	0%			0%より大50%未満	50%以上			1		1
		小計								16		16
計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い			市町村要望有り	特に要望ない		B	6	B	6	
	事業情報の共有	関係者以外にも周知			関係者中心に周知	特に周知していない			3		3	
	住民参加の状況	住民が直接参加			住民市町村意見を反映	住民意見反映していない			4		4	
	小計								13		13	
費用対効果(B/C)		9.3			評価の合計				A	79	A	79
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	南沢は北沢とともに小沢川の源流であり、伊那市中心地を保全する為に古くから砂防事業が実施されてきた。昭和62年に基幹えん堤となるH=24mの砂防えん堤が完成しているが、平成16年災、平成18年災の影響を受け、えん堤の堆砂と中流域の渓岸浸食が進んでいる。特に基幹えん堤下流の渓岸浸食による既存施設への影響等が顕著であり、早急な対応が求められている。										
	地域からの要望経緯	地元から伊那市を通じ平成21年12月に要望あり。										
	事業説明等の経緯	平成23年1月に市を通じ地元区へ事業説明実施。										
	環境・景観への配慮項目	特になし。										
	他事業・プロジェクトとの関連	北沢の対策と調整が必要。										
	特記事項	台風、豪雨被害を期に地域防災意識の高まりを見せており、安心して生活できる新たなコミュニティ形成のための核としたい。										
地域の合意形成		全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他						
部意見	平成16、18年の豪雨により流域が荒廃し、災害のポテンシャルが高まっている。氾濫想定区域内に人家が多く(39戸)、集中豪雨等により土石流発生が懸念されるため、砂防えん堤、渓流保全工による土砂災害対策が必要である。				政策評価課見	重要性が高く、必要性も認められる。						